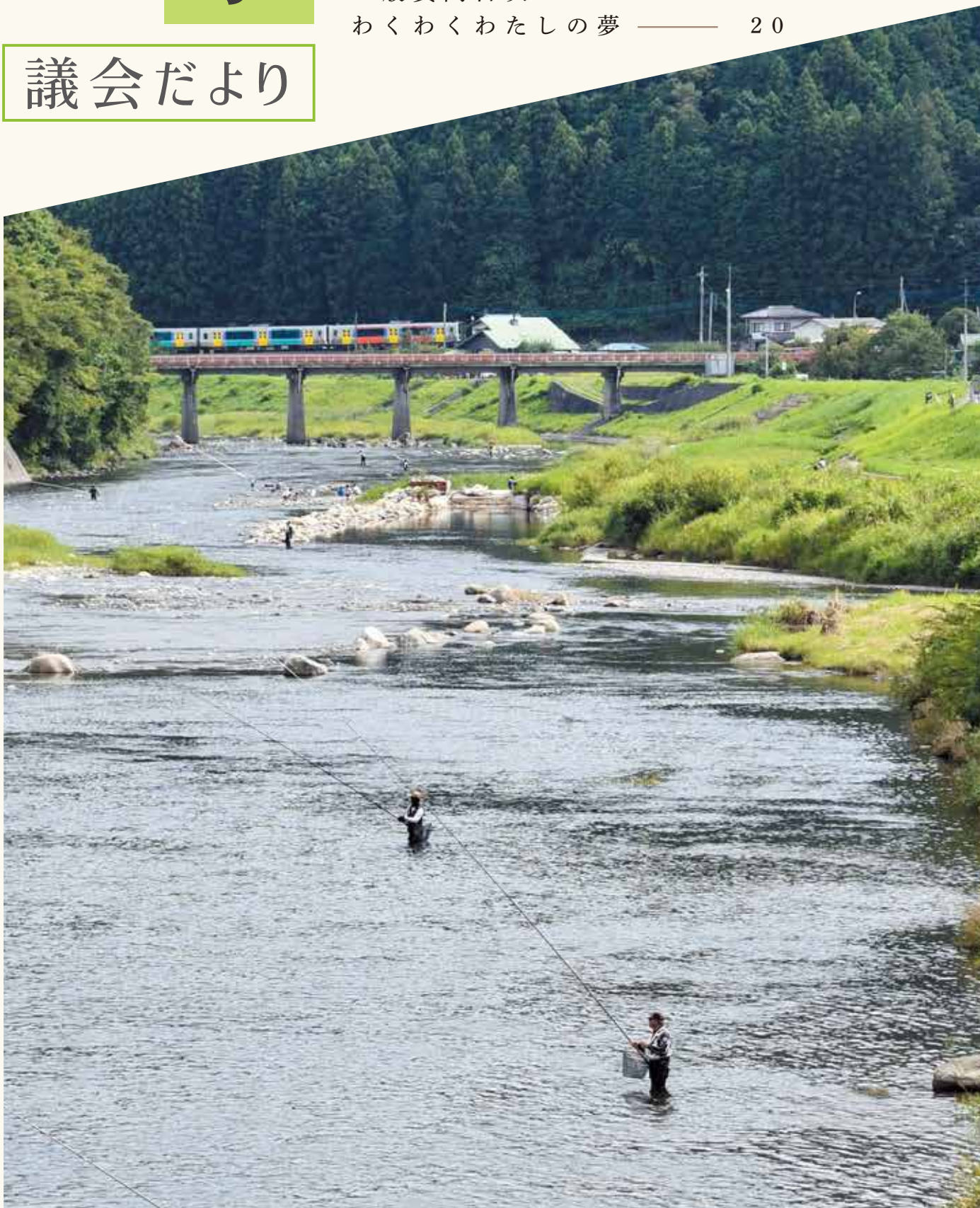


# 大 だいご 子

## 目次

令和元年第2回定例会	—	2～3
行政報告	—	4
議会活動報告	—	5
一般質問目次	—	6
わくわくわたしの夢	—	20

## 議会だより



## 令和元年第2回定例会

# 一般会計補正予算が可決

令和元年第2回定例会が、6月5日から13日までの9日間の会期で開催され、令和元年度大子町一般会計補正予算など町長から提出された議案18件、報告3件を慎重審議し、また、議員提出議案として議員の派遣が提案され、原案どおり可決されました。また教育委員会委員には、石井彰氏が再任されました。任期は令和元年6月16日から令和5年6月15日までです。

一般質問では、12人の議員が登壇し、町政全般についての質問が展開されました。

## 補正額 1億2,331万7千円の増額

## 補正後の予算総額 99億6,422万7千円

### 一般会計予算の主なもの

歳入	補正額
地方譲与税	3,100万円
国庫支出金	4,178万7千円
町債	1,850万円

歳出	補正額
地域おこし協力隊事業費	239万7千円
介護保険特別会計繰出金	1,602万円
幼児教育無償化関係システム改修業務委託料	824万3千円
風しん追加対策事業費	246万9千円
プレミアム付商品券事業費	2,355万1千円
八溝山登山道修繕工事請負費	130万円
中央公民館駐車場整備工事請負費	1,858万8千円

## 特別会計補正予算

◆令和元年度大子町介護保険特別会計補正予算（第1号）の補正額は、52万8千円の増額で、補正後の予算の総額は、歳入歳出それぞれ26億3,299万1千円となります。

## 第2回定例会 提出議案等と審議結果

議案番号	議案名	結果
報告第1号	平成30年度大子町一般会計予算継続費繰越計算書の報告について	報告済
報告第2号	平成30年度大子町一般会計予算繰越明許費繰越計算書の報告について	報告済
報告第3号	平成30年度大子町水道事業会計予算繰越計算書の報告について	報告済
議案第57号	大子町税条例等の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて	原案承認

議案第58号	大子町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて	原案承認
議案第59号	平成30年度大子町一般会計補正予算(第8号)の専決処分の承認を求めることについて	原案承認
議案第60号	平成30年度大子町介護保険特別会計補正予算(第4号)の専決処分の承認を求めることについて	原案承認
議案第61号	平成30年度大子町浄化槽整備事業特別会計補正予算(第3号)の専決処分の承認を求めることについて	原案承認
議案第62号	大子町森林環境譲与税基金設置条例	原案可決
議案第63号	消費税率及び地方消費税率の引上げに伴う関係条例の整備に関する条例	原案可決
議案第64号	大子町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第65号	大子町介護保険条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第66号	大子おやき学校の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第67号	大子広域公園オートキャンプ場の管理に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第68号	大子町火災予防条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第69号	ノートパソコンの取得について	原案可決
議案第70号	消防ポンプ自動車の取得について	原案可決
議案第71号	ごみ巻き込み車の取得について	原案可決
議案第72号	大子町教育委員会委員の任命について	原案同意
議案第73号	令和元年度大子町一般会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第74号	令和元年度大子町介護保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議員提出議案第1号	議員の派遣について	原案可決
	閉会中の継続審査の申し出について(総務委員会)	原案承認
	閉会中の継続審査の申し出について(文教厚生委員会)	原案承認
	閉会中の継続審査の申し出について(文教厚生委員会)	原案承認

## 議案の賛否状況

全議案(19件)のうち、採決に当たり意見が分かれた議案の賛否状況をお知らせします。

議案番号	議案名	賛否数		議 員 名														
		賛成	反対	菊池富也	須藤明	藤田英夫	菊池靖一	櫻岡義信	中郡一彦	岡田敏克	大森勝夫	金澤真人	齋藤忠一	佐藤正弘	鈴木陸郎	藤田稔	野内健一	吉成好信
69号	ノートパソコンの取得について	11	3	×	○	○	○	○	○	×	-	○	○	×	○	○	○	○
70号	消防ポンプ自動車の取得について	13	1	×	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○

※○=賛成、×=反対、△=欠席 - =議長(大森勝夫議員)は採決に加わりません。

## ノートパソコン取得についての審議経過

今定例会では、ノートパソコン取得について議論が交わされました。一般質問の中でも大量購入の割には単価が高すぎるのではないかと、一度に大量の交換が必要なのかなどの疑問がぶつけられましたが、答弁だけでは十分な理解が得られなかったため、全員協議会を開き再度執行部に詳細な説明を求めました。

過去のパソコン購入記録(価格や落札業者)や今回の機器仕様書が示されたうえで、Windows7のサポートが終了するパソコンが215台(全数264台)あること、接続にかかる費用、ソフトも変えコスト削減を図ったことなどの説明を受けて、翌日の議案の審議に臨みました。

# 行政報告

出資団体の事業報告について、一般財団法人大子町振興公社、奥久慈だいがご漁業組合、大子おやき学校に関する事業実績の報告が行われました。

## ◇一般財団法人大子町振興公社

平成30年度の利用者数は93万7,541人で前年度より9千人の増となりました。

全体の経常収益は7億4,843万2,871円であり、これに対する経常費用は7億5,570万142円で、726万7,271円の赤字決算となりました。赤字決算の主な理由は、重油や灯油など光熱費の値上がりによるものです。

## ◇奥久慈だいがご漁業組合

入客者数は1万1,538人で前年より30人の増となりました。売上高は1,

864万3,860円で、前年比165万1,610円の減となりましたが、経常損益については270万8,786円となりました。

## ◇大子おやき学校

売上高は1,857万104円で、前年度と比べ90万9,687円の減となり、経常利益についても、242万3,804円の赤字決算となりました。

おやきの販売数量については、学校給食の5万7,958個を含めた16万5,893個を販売し、前年度と比べ1万4,968個の増となりました。一方で、おやきづくり体験については、天候に左右されず利用でき、県内小学校からも高評価を得ていますが、前年度より1,413人減の5,703人となりました。

## 出資団体決算状況

(一般財団法人 大子町振興公社)

		経常収益	経常費用	経常損益	利用者数
法人会計		15,883 円	341,430 円	△ 325,547 円	
受託施設部門	大子温泉保養センター「森林の温泉」	90,599,685 円	97,560,027 円	△ 6,960,342 円	83,643 人
	大子町観光物産館「道の駅 奥久慈だいがご」	133,598,673 円	130,685,222 円	2,913,451 円	148,762 人
	八溝山展望台	1,249,900 円	1,249,900 円	0 円	
	袋田観瀑施設	53,155,084 円	53,155,084 円	0 円	516,891 人
	東京理科大学大子研修センター	24,139,815 円	24,139,815 円	0 円	延べ 4,017 人
	大子町営宿泊施設「やみぞ」	197,535,551 円	194,387,223 円	3,148,328 円	34,142 人 (宿泊者数 12,826 人)
	計	500,278,708 円	501,177,271 円	△ 898,563 円	
広域公園部門	多目的温泉プール フォレスパ大子	110,759,187 円	118,680,568 円	△ 7,921,381 円	フォレスパ大子 58,104 人
	多目的オートキャンプ場 グリンヴィラ	101,495,093 円	99,616,873 円	1,878,220 円	オートキャンプ場 40,129 人
	大子広域公園	35,884,000 円	35,884,000 円	0 円	
	計	248,138,280 円	254,181,441 円	△ 6,043,161 円	
合計		748,432,871 円	755,700,142 円	△ 7,267,271 円	

# 議員の仕事報告します！

(定例会のほか、常任委員会や調査活動を実施しています)

## 総務委員会自主研修

### 将来を見据えた取組み

近年、これまで紙を使用  
して行われてきた会議資料  
などをデジタル化する動き  
が活発化しています。

ペーパーレス化を考える  
理由には、

- ・ 文書保存・管理の効率化
  - ・ 議会運営の効率化
  - ・ 情報伝達の迅速化
  - ・ 印刷コストの削減
- などが挙げられます。

総務委員会では、  
大子町も近い将来ペ  
ーパーレス化への取  
り組みが進められる  
ことを想定し、調査  
研究を始めました。  
最初の取り組みとし  
て、過日の全員協議  
会においてタブレッ  
ト体験研修を全議員  
で行いました。  
私たち議員に配布  
される資料も膨大に



なることから、保存や管理  
に苦慮しているのも現実で  
す。今後は、先進事例の研  
修を行いながら導入費用や  
維持費など費用対効果につ  
いても調査していく予定で  
す。

## 文教厚生委員会

### 文教厚生委員会は、子ど

もたちや高齢者の皆さんの  
生活環境や心のケアがどの  
ように改善されているかを  
中心に、町民の皆さんの要  
望や意見を町政に反映させ  
るための活動をしていま  
す。

今年度は、昨年訪  
問した町立の各小中  
学校、幼稚園・保育  
所、福祉施設などか  
らの要望事項がどの  
ように改善されて  
いるか、また、適切  
な対応がされている  
かなどを調査しまし  
た。

学校関係では、全  
国に先駆けて導入し  
たエアコンが快適な  
授業を後押しし、特  
別教室への導入も進  
んでいます。また、  
校舎内のトイレの洋  
式化や机、いすの整  
備も実施されていま



### した。

今後は、福祉施設の環境  
整備を推進することや医  
師、薬剤師の皆さんと町民  
の皆さんの医療の在り方な  
どについての話し合いをす  
ることを予定しています。

## 令和元年第2回定例会

### 町政に

ここが聞きたい!これを言いたい!

# 12人の議員が一般質問!!

質問内容	ページ	質問者
黒沢小跡地活用の現在の状況は 町の課題と今後やるべき主な政策は	P. 7	金澤 真人 議員
産業廃棄物最終処分場建設は	P. 8	岡田 敏克 議員
通学児童生徒の安全対策は 町道路線の整備促進を 安全な水道水の確保を	P. 9	齋藤 忠一 議員
国の幼児教育無償化による町の対応は 子育て支援や医療費削減のアプリとは 小中学生に認知症サポーター講座を	P.10	野内 健一 議員
職員用パソコンの購入費が高額では 国体やオリンピック時の町のPRは 放課後児童クラブの受け入れは	P.11	菊池 富也 議員
アスリート派遣の検討を サイクリングロードの整備を 森林バンク制度の運用について	P.12	須藤 明 議員
産業廃棄物処分場の建設は デジタルテレビ放送受信のための町の支援は 八溝山の景観について	P.13	佐藤 正弘 議員
選挙公約は	P.14	鈴木 陸郎 議員
河川の土砂堆積、町の対策は 高齢化社会へ対応について	P.15	菊池 靖一 議員
駅前開発について 町活性化に向けてSL運行を 小・中学校への防犯カメラ設置について	P.16	吉成 好信 議員
ポナイの森や憩いの森に遊具の設置を 町の特産品を通して姉妹都市の締結を 今後の小中学校のあり方について	P.17	中郡 一彦 議員
学校適正配置のビジョン提示は 高齢者等に対して町ができる支援策は	P.18	藤田 稔 議員

### 一般質問とは・・・

定例会において、議員が町民の代表として、行政全般にわたり町の考え方や施策の進捗状況、将来における施策方針等を質すことです。

また議員は、町長等の答弁を受け、疑問を質すことはもとより、町民の立場に立った事務事業の改善や施策提言をすることも、議員の重要な権限です。

### スマホで「議会中継」を見ませんか!

定例会及び臨時会のすべてを生中継するとともに、閉会後は録画配信も行っています。スマートフォンでも見ることができます。

※一般質問者ページ下部にあるQRコードにより、質問者を検索することができます。



ホームページから 議会中継 クリック



スマートフォンから



## 問 黒沢小跡地活用の現在の状況は

## 答 地域の拠点であり活用を調査検討する



金澤眞人 議員

の拠点とも考えられ、今後の活用方法の調査検討を進めている。

【金澤】 借用の申し込みはあるのか。

【町長】 はっきり申し上げる段階ではないが、いくつか話はある。

【金澤】 旧大子二高跡地を利用している東京理科大の状況はどうか。

【町長】 10年間の貸付期間が満了し1年間延長したが、来年1月には撤退する予定となっている。

【金澤】 理科大側が5億円をかけて改修し宿泊もできる施設となっている、有意義な使い方を考えるべき。

【町長】 まだ具体的ではないが、研修施設としての設備が整っており、他の大学や教育機関などからの問い合わせもあり、活用して

れる法人の誘致など検討を進める。

【金澤】 撤収に対し理科大との交渉は。

【町長】 撤収に関する話はこれからだが、しっかりと交渉をしていく。

【金澤】 現在活用を検討している廃校はあるのか。

【まちづくり課長】 すでに活用されている学校もある



新たな利用の申し入れがある旧黒沢小

が、今後も先進事例などを視察研究し、方向性をしっかり検討する。

## 町の課題と今後やるべき主な政策は

【金澤】 町の課題と今後行うべき主な施策を伺う。

【町長】 課題の序列はつけがたいが、急速な少子高齢化に対し、教育の充実、SNSの活用による情報の拡散、通勤・観光のために道路の改善、高規格的道路整備、ドクターヘリの拡充やドクターカーの導入促進、公共交通ネットワークの維持、空き家バンク活用による定住促進など。実現のハードルは高いが国や県と連携し「日本一幸せなまちづくり」を目指す。

【金澤】 県の関係部署と具体的に話し合っていることは。

【町長】 県の政策企画部県北振興局に於いて助言やアドバイスをもらっている。茨城国体においてはカヌー

大会があり、久慈川の清流や森林など本町の魅力ある資源を最大限に発信していく。

【金澤】 奥久慈しゃもを地域ブランドとしてさらに確立していくための対策は。

【農林課長】 観光商工課、特産品流通公社と連携しメディア媒体へのアプローチやSNSなどによる情報発信、名物料理の開発、新たな販路開拓などにより支援とブランド化の推進を図る。

【金澤】 国による森林環境税と県による森林湖沼環境税は併用できるのか。

【財政課長】 令和3年度までは併用できると考えている。

【金澤】 今後の更なる高齢化社会に向けて、高齢者対策の基本方針を伺う。

【福祉課長】 健康寿命を延ばすこと、高齢者の方を地域全体で支えあう地域包括ケアシステムの構築を図ることが何よりも重要なテーマと考える。

## 問 産業廃棄物最終処分場建設は

答 この問題はしつかりとくい止めたい



岡田敏克 議員

業者からの電話があり現実となった。今回は槇野地ではなく全く予想もしなかった場所、菅ノ沢であることが判明した。2月14日町建設課に業者が来庁したこと、も判明。何人来てその目的、面積、名義は。

【まちづくり課長】 2月14

【岡田】 今から21年前の平成10年3月に、大子町大字槇野地釜ノ口の地で全町民を巻き込んだ産業廃棄物最終処分場建設問題が発生。反対運動で町は揺れに揺れ、結果として業者が最終的に断念したためできなかったという歴史があり、その時の看板が今も立っている。再び昨年の暮れの町長選挙の時、町民間では産廃の噂が流れ、当初は単なる噂としか思っていなかったものが、今年の1月に入り

日来庁した業者関係者は5人、目的は最終処分場建設を検討、町の手続きに関する確認、町道の存在、排水先等の確認。また2月22日に同業者が電話で周辺地域における環境アセスメントの実施事例、土壌に関するの問い合わせがあった。場所は、指摘のとおり大子町大字大子字菅ノ沢周辺で、清流高校裏山付近から矢田地区にかけての山林、全体で約15ha程度の面積と推測。土地の名義については

問い合わせがあっただけなので、詳細については公表を差し控えたい。

【岡田】 場所は大子町で言えば中心地、担当者が一部の区長のところへ行つて説明している。ほとんどの町民は動きも何も知らない。これは大変なこと。議会も細かいことがわからない間に水面下で各担当職員が動いている。その後、3月に別な業者から町へ連絡電話があったと聞いている。これで2社（業者）だと思っているが。

【まちづくり課長】 別

な業者が4月2日と9日に来庁。目的は同じく最終処分場建設に関してで、2件目。【岡田】 町としての対応は、反対するのかが



問い合わせがあった場所

慎している。3月議会で私の一般質問で町長に「国と県と一体となって」とあるが、一体というのは従属したりすることだと戒めたはずである。連携とか協力なら分かる。仮に県が書類上問題なく県の立場で許認可して、町に事前協議を求めてきたとき、それでも町長は反対を貫き通すのか。私たち議会も一緒に反対の立場を通していきたい。今日のFM放送を通じて聴いている全町民に政治生命をかけて再度反対の声明を出し

ていただきたい。  
【町長】 私は一貫して産業廃棄物最終処分場建設に関しては反対という趣旨で話してきている。わざわざここでもう一度反対する必要はないと思っている。この問題はしつかりとくい止めて行きたい。その考えに曇りはない。

その他の質問  
○森林環境税・譲与税について



# 問 通学児童生徒の安全対策は

## 答 各関係機関と連携を図り対応



齋藤忠一 議員

者情報に関して、警察と情報を共有することなど連携を密にする。また、保護者や地域住民の方々等に対して、「ながら見守り」への協力の呼びかけと配信があり、改めて町教育委員会からも各学校に対し、登下校時における児童・生徒の安全確保についての対応をお願いした。

れ劣化が顕著な箇所が多いことから、国の社会資本整備総合交付金を活用して、優先順位を決め計画的に舗装修繕を行っている。更に、センターライン・外側線等は、昨年度から5カ年計画で区画線設置を進めている。今年度は、内大野交差点より高柴方面に向かい、1.5キロの工事を予定している。また、大生瀬トンネルについては、東日本大震災の節電対策であったが、点検も終わり前の明るさにす

### 町道路線の整備促進を

【齋藤】 広域農道アップルラインの舗装のヒビ割れやセンターラインが消えている箇所が多く見受けられる。これらの整備と、大生瀬トンネルが暗くて危険である。LED化を進めるべきでは。

【建設課長】 舗装のひび割



消えたセンターライン



暗いトンネル

ることで、利用者の安全を確保していく。なお、LEDは、予算の面から将来への検討課題としたい。

### 安全な水道水の確保を

【齋藤】 水道水は安全で安定した供給のできる水源が求められる。大子町では、国有林を除く全ての地域が、水道水源保護条例が施行されている。この中には、何人も水道水源区域内において、一般廃棄物処理施設や産業廃棄物処理施設等、水道の水質を汚染する恐れがある施設は設置してはならないとあるが、今、問題となっている最終処分場などは、この法令に適合する認識でよいのか。

【水道課長】 法律に規定する産業廃棄物処理施設は、産業廃棄物を保管する施設に該当する。更には、申請前に、事前協議等の対象となる施設と認識している。

【齋藤】 今年令和になり、児童生徒を巻き込む痛ましい事件、事故が相次いでいる。町は安全対策について、緊急に対応したのか。

【教育委員会事務局長】 県

教育委員会から、各市町村教育委員会のほか、各学校において、児童・生徒に対して、登下校中に何かあった際には、子供を守る110番の家やガソリンスタンド、コンビニ等への駆け込み、大人の助けを求めるよう指示すること、不審

## 問 国の幼児教育無償化による町の対応は

## 答 幼児教育施設等の改善を検討する



野内健一 議員

いる金額の6700万円が削減できると見込まれる。

なお、次年度以降は、国及び県の負担分のみ約3300万円が交付される。町負担分についても、そのうち約2000万円が普通交付税に算入されるため、交付金と交付税を合わせて約5300万円が削減できる。

【野内】 この削減できる分を、どのような施策に充てるのか。

【町長】 幼児教育に関する施設の整備や、子育て世代における施策、その他については引き続きよく検討していく。

【財政課長】 幼児教育の無償化に関わる費用について今年度は、保護者から徴収すべき利用料、授業料の軽減額として、町が負担して

## 子育て支援や医療費削減のアプリとは

【野内】 0歳から4歳児未満の健康相談が、スマートフォンにより無料でできるようになるとのことだが。

【健康増進課長】 医療相談LEBERについては、アプリの利用を4歳未満のお子さんがいる家庭を対象に導入し、スマホを使ってお子さんの病気や体調を相談していただくことで、医師の見解や助言、必要に応じて医療機関の紹介、市販薬の紹介を受けることができ。さらに家族5名までの相談が可能となる。

【野内】 2020年3月末日までの利用となっていたが、その後は。

【健康増進課長】 費用につ

## 小・中学生に認知症サポーター講座を

【野内】 認知症の方への助言については、孫の世代からの指摘は素直に受け止めるとのことだが、町として小中学生に認知症サポーター養成講座の考えは。

【福祉課長】 新オレンジプランの中に、「学校教育等における認知症の人を含む高齢者への理解の推進」というのがうたわれており、平成29年に改訂された、新中学校の学習指導要領にも「介護などの高齢者との関わり方について理解すること」ということが明記されている。また、毎年4月に県の保険福祉部長名で、各市町村の教育委員会教

では、一件、100円から500円とのこと。町としては、子育て支援や医療費削減につながる事業なので、有料となった場合でも、費用を町が負担して継続できるように考えている。

育長及び学校長宛に、認知症サポーター養成協力依頼がされているが、現状は困難な状況となっている。

【野内】 教育長の考えは。【教育長】 時間的に大変難しいが慎重に検討していく。



認知症やその家族を理解する認知症サポーターの証「オレンジリング」

## 問 職員用パソコンの購入費が高額では

## 答 新機種を導入するためである



菊池富也 議員

と考えるが。

【町長】 町の方針を説明したうえで発注事務をすべきだった。

【菊池】 最低制限価格制度の導入はどうなのか。

【町長】 落札率が低かったことで業務完了検査に合格しなかった事例はなかったし、工事業者も切磋琢磨して競争している背景もある。また、制度を受け入れられない町民もいることなどから、この制度の導入は見合わせたい。

【町長】 前町長の答弁だったので、検討していない。

【菊池】 町長の答弁は町を代表しての発言であり、町の政策の基本である。当然、責任をもって遂行すべき

どれくらいか。

【財政課長】 憩いの森は、3工区で、平均落札率91・9%。広域公園は、4工区で平均落札率61・3%。

【菊池】 今議会に提案されている職員のパソコン購入費は、215台、2千万円を超える額であり、価格は、1台10万円もする。新

庁舎の建設に合わせてはどうか、また、今まで通り年次計画で購入できないか。

【町長】 入札にはタッチしていないのでわからない。

【まちづくり課長】 現在職員が使用しているノートパソコンの多くが来年1月に

情報セキュリティのリスクが発生するので、最新のオペレーションシステムを備えたものを購入する。単なるバージョンアップも考えられるが、動作が遅くなることも考慮した。

【菊池】 役場の業務には、これほど性能の良いものでなくても対応できるはずである。

次に、消防自動車の入札について予算額や予定価格が適正でなかったのか、他に理由があったのか疑問を感じる。入札が不調になり随意契約を結んだとのことだが、今までにそんな事例があったのか。

【財政課長】 私の知る限り無い。

## 国体やオリンピック時の町のPRは

【菊池】 国体やオリンピック開催時における町のPR方法は。

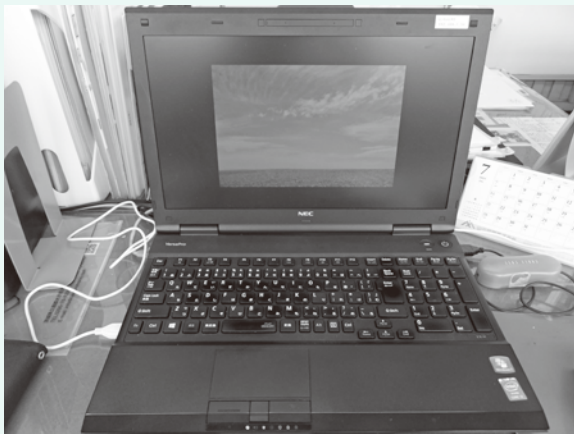
【観光商工課長】 国体の開催時は、特産品の販売、オリジナル弁当の配布、ガイドマップの作成など大子の自然、食、温泉を楽しむきっかけづくりをする。

【町長】 東京オリンピックの聖火リレー時のPR方法は、まだ具体策を考える段階ではない。

## 放課後児童クラブの受け入れは

【菊池】 今年度、放課後児童クラブの拡充とあるが、リフレッシュセンターの会場は閉鎖され、希望者全員を受け入れも困難だと答弁している。子供たちのためにも再検討できないか。

【町長】 担当課と協議し、返答する。



現在使用している職員用パソコン

## 問 アスリート派遣の検討を

答 要望を聞きながら検討したい



須藤 明 議員

活動を発展する中で、要望を聞きながら中学校運動部へのアスリート派遣について検討したい。

【須藤】子どもたちの将来を考え、せつかくの連携協定。日体大を大いに活用すべきと思う

【町長】アスリートが来てマッチングできれば素晴らしいことだ。チャンスがあればぜひ取り組んでみてもいい。

【須藤】全体的なレベルアップを図ることは当然必要である。しかしながら、優れた選手、期待の持てる競技者、その育成・支援等を図る上からも、中学校運動部へアスリートの派遣要請を検討しては。トップレベルの指導は励みにもなり、目標にもなるのでは。

【教育委員会事務局長】今年度は児童が運動に親しむ機会を充実させるため、体育実技サポートに日体大から学生を招へいする予定。

## サイクリングロードの整備を

【須藤】県は、県内各地域の特色を最大限に活かしたサイクルツーリズムを全国的に取り組み、地域活性化



日体大での学生交流

等に繋げていく「いばらきサイクルツーリズム構想」を策定した。自転車活用の動きは国を挙げて急速に高まっている。大子町は押川堤防が役場前から上岡地区

まで整備されている。これらのルートを基に大子町独自のサイクリングロードを県の事業と併せて整備し魅力ある大子町をPRしては。

【観光商工課長】県や道路管理者と協力しながら案内看板、目的地までの距離を示した道路標示等の整備を実施していきたい。

## 森林バンク制度の運用について

【須藤】平成30年5月25日森林経営管理法が可決成立した。森林は「伐って使って植える」という森林資源を循環的に利用・運用していく時代に入った。専門的知識を有する町の森林担当者の確保は十分なのか。

【町長】事業との連動性と合わせて人員は配置しなくてはいけない。本年度事業をしっかりと見極めて、報告を受けた上で方向性を出していく。

【須藤】自ら管理が行えない場合は、町へ委託するが、無理に迫れば反感を持たれることもある。町はどのようにして対応していくのか。

【町長】人員を配置した上で、そういう苦言をいただかないように、また、施策をとっていかなければいけないと思っている。

【須藤】森林経営管理法の中身は、あくまでも山を整備する法律ではない。整備して伐り出した木材をどう使って、地域活性化に繋げていくのか。需要まで含めた取り組みが求められてくるが町長の考えは。

【町長】地場産業の育成という意味からしっかりと頑張っていく。皆さんに良かったと言ってもらえるようなやり方を考えたい。

# 問 産業廃棄物処分場の建設は

## 答 最後まで反対を貫く



佐藤正弘 議員

対していくのか。

【町長】 県から町に対して意見を求めることが法的に定められている。反対の意見を示す機会として捉えている。

【佐藤】 反対の意見を示しても進行する場合、どのような対策を立てていくのか。

【町長】 最後まで反対を貫いていく。そういう事態が発生した場合、町と議員の方々が一緒になって建設を阻止するための協力をお願いしたい。

## デジタルテレビ放送受信のための町の支援は

【佐藤】 中郷、北吉沢地区でのデジタルテレビ受信施設建設について、3月議会の答弁で、「町内の共同受



信組合を調査し対応を検討する」町長は「新たな考え方を作り、精査し、公開できればと想っている」と答えている。検討結果はどのようなになったのか。

【まちづくり課長】 町内のテレビ共同受信組合のアンテナは、39組合から回答が寄せられた。個人負担は、数千円から20万円を超える負担が発生している組合があった。調査結果を踏まえ、町が整備した光ケーブルの利用等に対応していく方向になると考えている。

【佐藤】 光ケーブルを利用した場合、一戸当たりの負担はどの様になるのか。

【まちづくり課長】 インターネット回線を利用した場合、毎月、接続料が6千円、視聴サービス料が約2千円になる。

【佐藤】 毎月8千円、それにNHKの受診料も含めると年間約10万円になる。年金暮らしの町民には高すぎて、町が支援したことにはならないのではないのか。

【まちづくり課長】 大字町にとつて一番よりよい方向で何か活用できる方策があるか、全国的な事例を調査していきたい。

## 八溝山の景観について

【佐藤】 県内最高峰を誇る八溝山の魅力は景観である。その景観が失われつつある。どのような対策を取っているのか。

【観光商工課長】 福島県側のブナの伐採は困難と考えている。東側、南側の景観については、茨城県

立自然公園で構成され複数の規

制があるため、複数の機関の調整が必要になる。

【佐藤】 福島県側のブナの枝を落とすことも不可能ということなのか。

【観光商工課長】 ブナの木自体に多大な影響があるのでないのかと懸念される。

### ◎その他の質問

- ・選挙公約について
- ・常陸大宮保健所の統廃合について



失われつつある福島県側の景観

## 問 選挙公約は

## 答 実施に向けて努力する



鈴木陸郎 議員

関と連携、具体的構想とドクターカーの導入は。

【健康増進課長】医師派遣回数を増やすなど拡大を検討する。ドクターカーの導入は精査中である。

【鈴木】空き家問題が解消しない。何が問題か。

【まちづくり課長】空き家バンク等事業を進めている。

【鈴木】サテライトオフィス整備の実現の可能性は。

【町長】自然環境を活かした、地方型の誘致を進めたい。

【鈴木】農林業の活性化と雇用の創出について、具体的な振興策は。

【農林課長】農業後継者

育成支援事業等各事業の継続的な支援を進める。

【鈴木】新規就農者にアドバイスできる人、組織をつくっては。

【町長】検討課題としたい。

【鈴木】新庁舎で使用する什器、備品等及び引越費用の計画はどのようにしているのか。

【総務課長】引越し等の費用については今後検討する。

【鈴木】高規格的道路の整備の進捗状況は。

【町長】努力目標として頑張っていく考えである。

【鈴木】袋田バイパス（工事中）は、下津原方面からT字路交差点になつてい

る。以前、所谷トンネル構

想があつたと聞いている

が、118号線改修期成同盟を通して要望してはどうか。

【町長】期成同盟に要望する。高規格的道路についても努力する。

【鈴木】子育て支援、教育の充実については。

【鈴木】大学、専門医療機

【教育委員会事務局長】筑波大、民間関係機関と連携し、実践的な英語力を身につけた「人財」を育成できるように取り組む。

【鈴木】木育とは。

【教育委員会事務局長】人と木や森との関わりを考え豊かな心を育むことを目標にしている。

【鈴木】山林資源が持っている魅力を教育すべきと考えるが。

【教育長】特産品である木材を教育現場での活用を検討したい。

【鈴木】豊かな自然環境を活かした町づくり、里山をどう活用する考えか。

【町長】サイクリング、ハイキングでめぐるツアーなど体験型ツーリズム事業を考える。

【鈴木】大学、専門医療機

【鈴木】設計図ができた時点で説明する。

【鈴木】当初の説明では25〜26億円位との説明であつたが。

【町長】削減する方向である。

【鈴木】周辺整備、外構工事については。

【総務課長】計画策定次第、事業費の説明をする。



活用される里山

# 問 河川の土砂堆積、町の対策は

## 答 計画的に除去することが必要



菊池靖一 議員

頭に立ち、久慈川に恩恵を

受けている近隣市町村と連

携しながら、将来の森づく

りについて真剣に検討して

いくべきではないか。

【**農林課長**】森林は、地球

に様々な恩恵を与えている

が、所有者不明の森林の増

加による間伐手遅れ林や伐

採後の再造林

化が進まない

ことが大きな

課題になって

いる。これらの

重要なことである。

【**菊池**】町長の森林保全に

対する考えは。

【**町長**】地球温暖化等々の

問題を踏まえれば、力を入

れていかなければならない

と考えている。

【**菊池**】県は市町村の森林

経営管理を補完する地域林

の

問題

を

解決

す



土砂撤去が急がれる初原川

政アドバイザーの養成や担

当者を対象に講習会を行う

などの支援のため予算化し

ているが、町の対応は。

【**農林課長**】今議会で譲与

税の議決後、来年度から取

り組んでいきたい。

【**菊池**】植林後、下刈りな

どをする人材育成の考えは。

【**町長**】大子清流高校や、

協力を得られそうなところ

と連絡を取り合って、年齢

の若い方々に働き手をやっ

ていただくのも構想の中に

ある。

成24年は、2.4人で支え

る騎馬戦型社会。それが令

和32年になると、1.2人

で支える肩車社会になると

推計されている。大子町の

現状は、1.02人で一人

を支える肩車社会にすでに

なっていて、国の推計レベ

ルを30年先取りしている状

況である。

今後の地域のあり方は地

域ぐるみで考えていく必要

があることから町では、支

え合いの体制づくりのため

に、生活支援体制整備事業

に取り組んでいる。今年度

からは地域に向いて普及

啓発活動を展開していく。

【**菊池**】課題は。

【**福祉課長**】支える側が足

りなくなってきたこと

と、介護人材などの後継者

不足である。

【**菊池**】これから地域の人

たちに期待することは。

【**福祉課長**】疎遠になって

いく社会を見直し、簡単な

ことは地域で助け合ってい

## 高齢化社会への 対応について

【**菊池**】地域包括ケアシス

テムを構築するにあたり、

ボランティアの養成や普及

啓発活動など現在の状況

は。

【**福祉課長**】65歳以上の方

一人を20歳から64歳までの

人が何人で支えているか、

国が出している資料による

と、昭和40年は、9.1人

## 問 駅前開発について

### 答 庁舎建設と併せて考えていく



吉成好信 議員

と併せてつくり上げていくべきとの意見もいただいたので、町としても町民の皆さんからいただいた意見を参考にしながら進めてまいりたい。併せて、旧ゲームセンター跡についても同じように、どのような活用が町としてできるか、駅前のにぎわい、活性化づくりとしてどのように活用していくのかも検討していきたい。

### 町活性化に向けてSL運行を

【吉成】平成24年、26年に水郡線にSLが運行された。県北振興事業ということで、県北の地域活性化のためにSLを走らせてくれた。県でも2、687万7千円を出してい



ただいたという経過がある。しばらくSLも走っていないし、水郡線に活を入れるためにもSLを走らせ

てはどうか。

【まちづくり課長】町としても、誘客対策として有効な取り組みであることは十分認識している。大子町を含めた水郡線沿線自治体と県とで構成されている水郡線利活用促進会議を通じ、SLなどの企画列車の運行を要望している。今後も引



SLで水郡線活性化を

き続き沿線自治体や県と連携しながら、SL運行実現に向け要望活動を行ってきたい。

### 小・中学校への防犯カメラ設置について

【吉成】大子町の小・中学校への防犯カメラの設置率は27・3%で、今年度中に100%を見込むと報道されたが達成可能か。

【生活環境課長】要望については、大子中、生瀬中を除く小中学校9校及び町営袋田第一、第二駐車場の合計11カ所となっている。設置箇所は、平成29年度にはだいご小、袋田小、南中、平成30年度には依上小、さはら小、生瀬小、いずれも学校付近に設置し、今年度は大子西中付近、町付地内の旧黒沢小へ行く旧道との交差点付近、上小川小付近、町営袋田第一、第二駐車場の出入り口の計5カ所に設置を進めている。



# 問 ポナイの森や憩いの森に遊具の設置を

## 答 精査して報告できるよう考えている



中郡一彦 議員

備を当面の目標としている。豊かな自然環境を活用したアスレチックの利用者が全国的にも増加傾向にあることも聞いている。森林の有効活用は本町にとって重要な課題であることも認識している。今後ポナイの森の整備を進める中で、検討していきたいと考えてい

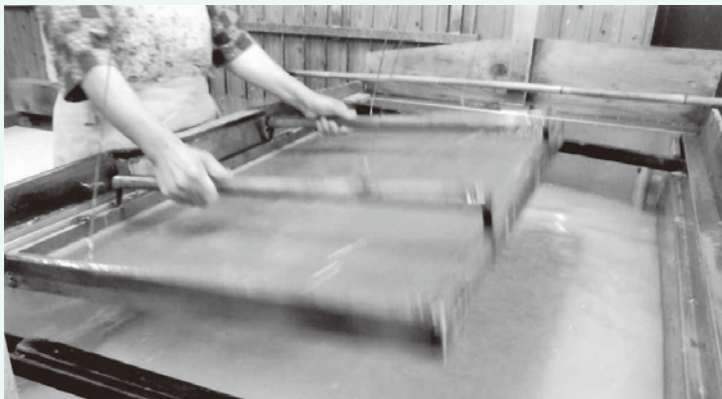
る。  
【農林課長】 奥久慈憩いの森については、県から5年間、本町が管理運営を行うことになった。県が実施主体であり、町主導での施設整備は困難であり、要望があれば町と協議して県で検討することになる。

【中郡】 町長としての考えは。

【町長】 就任間もない時期でありこれから報告を受け、検討し、精査した上で報告できるように考えている。

### 町の特産品を通して姉妹都市の締結を

【中郡】 岐阜県的美濃市は美濃和紙で有名で



大子那須楮を原料として漉かれる美濃和紙

ある。ユネスコの無形文化遺産に登録され、世界に認められた和紙である。その原料となるのが大子那須楮であり、美濃市と大子町は需要と供給で良好な関係にある。この特産品を架け橋として、さらに有効を深め相互の発展のために、姉妹都市の締結をしてはどうか。

【総務課長】 本町の特産品である大子那須楮を通して

さらなる交流を深めた上で、機運の醸成を見定めながらお互いの関係が、良い方向に向かうように検討できればと考えている。

### 今後の小中学校のあり方について

【中郡】 少子化により児童生徒の数が減少している。5年後には小中学校合わせても700名という数だ。小学生は少人数学級で丁寧に教育を受けることは良いと思うが、中学生になると大勢の中で切磋琢磨することも必要であり、スポーツなど団体生活への適応といった面で影響がないとは言えないと思う。今後どのような方針で学校の配置を進めていくのか。

【教育長】 非常に難しい問題である。それぞれのメリット、デメリットを精査して、今後の学校のあるべき姿を模索していきたいと思う。

【中郡】 近年レジャーも多様化している。若者や家族連れの観光客は、体験型のレジャーを求めている。本町で管理している、ポナイの森や憩いの森に森林を活用した遊具を設置し、自然の中でアスレチックを楽しめるような施設を整備すべきと思うがどうか。

【まちづくり課長】

ポナイの森については、駐車場やトイレ等の整



森林を活用した事業が期待されるポナイの森

## 問 学校適正配置のビジョン提示は

## 答 さらに検討した中で進めて行く



藤田 稔 議員

【教育委員会事務局長】 5

月1日現在では、小学校6校で児童数586名、中学校4校で312名である。

【藤田】 複式学級は、依上小では令和3年度に解消し、7年度に再発生する。上小川小では令和3年度以降に、さら小、生瀬小は継続して、また、生瀬中学校では令和10年度以降発生する見込みである。

【町民課長】 平成26年度71名、27年度77名、28年度57名、29年度73名、30年度70名である。地区別では、大子49名、依上40名、佐原19名、黒沢12名、宮川35名、生瀬19名、袋田102名、上小川44名、下小川6名である。

【藤田】 小・中学校の児童生徒の推移並びに複式学級の発生状況は。

【藤田】 小・中学校の児童生徒の推移並びに複式学級の発生状況は。

【教育委員会事務局長】 校適正配置等検討委員会ではこれまでどのような協議をされてきたのか。

【教育委員会事務局長】 平成28年度以降5回開催している。平成29年8月には、

【藤田】 だいが小を除く6つの小学校で、学校の教育環境を考える意見交換会を開催し、検討の材料とさせていたいただいている。

【藤田】 平成30年度内に教育委員会で作成するとしたビジョンは。

【教育委員会事務局長】 現在さらに検討中である。

【藤田】 学校再編について町長の考えは。

【町長】 教育長に意見を聞きながら判断したい。

【藤田】 学校再編について教育長の考えは。

【教育長】 小規模校としてのメリットを生かした、地

域に根ざした学校として存続するか検討を重ねると共に、知恵や意見を聴きながら進めて行きたい。

【藤田】 学校統合後の歴史的資料等の保管状況は。

【教育委員会事務局長】 文書や備品等の引き継ぎ後は、普通財産へと教育委員会から管轄が離れるため、財産等について管理はしていない。

【藤田】 子ども議会開催についての考えは。

【教育長】 関係者や学校の意見を聞きながら進めたい。

## 高齢者等に対して町ができる支援策は

【藤田】 高齢者等への配食事業の現状は。

【福祉課長】 65歳以上の一人暮らしや高齢者のみの世帯が対象で、安否確認も行っている。4月現在の利用者は、久慈川荘が60人、魚作さん5人、魚勝さん5人

という状況である。

【藤田】 買い物支援として、宅配サービス事業者等へ町ができる支援策はあるか。

【福祉課長】 ニーズ調査が必要である。事業者の方の意向調査等を進め検討する。

【藤田】 森林の温泉の施設等を活用して、機能訓練施設等の整備ができないか、町長の考えは。

【町長】 住民からも要望があったので、町の施設等の状況を確認して検討したい。



森林の温泉を活用してトレーニング施設の整備を

# 6月定例会を傍聴して



高齢者大学 議会見学の様子

6月10日一般質問の午前  
部を、大子町高齢者大学の  
学生さん35名が傍聴されま  
した。傍聴された学生さん  
からの感想です。

○高齢者大学に入学し、議  
会を傍聴する機会を得まし  
たので感想の一部を述べま  
す。

閉校に伴う跡地利用及び  
建物活用の質問では、より  
有効な方法を模索している  
ことがよくわかりました。

高齢者対策の質問では、  
福祉計画について説明がさ  
れましたが、そのうちの  
一つである「生きがい」を持  
つてもらうには、もう少し  
具体的なメニューを多く出  
すことを期待します。

産業廃棄物最終処分場建  
設についての質問では、後  
手にならないよう関心をも  
って町民一体となって情報  
を共有することが必要と感  
じました。

今回の傍聴で議会及び町  
長はじめ職員の日頃の働き  
に改めて感謝し、また、活

躍を期待し見守って行きた  
いと思いました。

○今回初めて大子町議会定  
例会一般質問の傍聴をし  
て、議会を身近に感じるこ  
とができました。議員が多  
方面から質問したことにつ  
いて、町長をはじめ各課長  
の方々が答弁している様子  
を見学できて良かったで  
す。水と緑の自然豊かな  
大子町を守るため、産業  
廃棄物最終処分場建設に対  
して、議会、大子町役場、  
町民一体となって反対表明  
をしてください。

○熱心な質疑応答は誠に立  
派でした。これらの審議は  
私たち町民の支えになって  
いることで有り難いことと  
感心をいたしました。

○大子町の発展のため、あ  
らゆる問題に議員の皆様が  
議論をしている姿を初めて  
傍聴しました。これからの  
町づくりのために活躍を期  
待します。大変ためになる

議会でした。

○2名の議員の質問ではあ  
りましたが、両議員とも将  
来の大子町を考えた上での  
質問に思われました。また  
答弁側の町長はじめ各担当  
課長も良く勉強をされていて  
正確な答弁でした。しかし  
その場限りでの答弁では町  
は良くなりません。ぜひそ  
の答弁を実現させて良き大  
子町になることを望みま  
す。

★貴重なご意見・ご感想を  
ありがとうございました。



—大子っ子の夢、応援しています—

# わくわく わたしの夢



私は昨年度2年生の時に行った立志式を機に、自分の将来について、今までになく深く考えました。毎日いつもと変わらない生活をしてきた私にとって、立志式は大きな転換期となったのです。

立志式で私は「守」という漢字を座右の銘にしました。私の父は、毎日必死に働いて、家族の生活を支え守ってくれています。父は製造業に従事していて、自分の仕事に誇りをもっているように感じます。



年3中瀬 龍大さん  
菊池 龍大さん

そこで私も父と同じ物づくりの仕事に就き、取引先などの約束や期限を守り信頼を得たいです。そして、自分のつくったものを使った人が笑顔になったら幸せです。

## FM放送のお知らせ



町議会定例会の一般質問の様子をFMだいで聴くことができます。生放送のほか録音放送もしていますので、是非お聴きください。

放送日、時間等はFM放送等でお知らせします。※6月定例会時の議会中継では、機器の不具合により録音放送となっております。またお詫びいたします。なお現在、9月定例会に向けて復旧中です。

## 9月定例会 開催予定

- ▽4日(水) 開会
- ▽5日(木) 8日(日) 自宅審議
- ▽9日(月) 一般質問
- ▽10日(火) 一般質問
- ▽11日(水) 一般質問
- ▽12日(木) 逐条審議
- ▽13日(金) 逐条審議 閉会

※詳細は議会事務局にお問い合わせください。

## 大子町議会 広報委員会

- 委員長 須藤 明
- 副委員長 佐藤 正弘
- 委員 菊池 富也
- 委員 菊池 靖一
- 委員 大森 勝夫
- 委員 中郡 一彦

## あとがき

新たな時代が来た。現在、世界で元号を持つ国は日本のみである。伝統ある国に生きる喜びを感じられる時節だ。譲位による元号改元は、慶賀の行事であることが何よりも嬉しい。喪に服す期間が存在しないのである。誰もが新たな時代の幕開けを祝い、より良き時代となることを心より願っているはずだ。日本人の美徳のひとつに、「和」を尊ぶ公共心の高さがある。住民の公共心の高さは、生き残りを競う地方の未来に大きく影響を及ぼすと思う。公共心が高い地域が沈むことはない。この令和の世が、独自の光を放つ大子町へと進展できるよう、願ってやまない。

(大森勝夫)